

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 29 [2017] 年度 第 2 回 議事録

担当：峯岸邦夫

日 時	平成 29 [2017] 年 7 月 4 日 (火) 15:00-17:30	場 所	地盤工学会 地下会議室 B
-----	--	-----	------------------

出席者			資料 番号	配 付 資 料
部長*	仙頭 紀明	○	29.2.0	平成 29 年度 [2017 年度] 第 1 回基準部会議事録案
理事*	堀越 研一	○	29.2.1	平成 28 (2016) 年度 決算・平成 29 (2017) 年度 予算
理事*	山中 稔	×	29.2.2	【別冊】規格・基準による細則
幹事	峯岸 邦夫	○	29.2.3	基準部平成 24 年度未払金
部員	浅田 素之	○	29.2.4	書籍売上・在庫数
部員	伊貝 聡司	○	29.2.5	【回覧】各委員会 2017 年度 (平成 29 年度) 構成
部員	海野 寿康	○	29.2.6	広域における地盤工学特性の評価手法に関する国際標準化事業受託契約 (経産省)
部員	大向 直樹	×	29.2.7	【別冊】水圧破砕法による初期地圧の測定方法 (公示後の修正案)
部員	小早川博亮	○	29.2.8	優良事業所証明制度について (概要)、技能試験過去 4 年間連続実施機関調査一覧表 (H25~H28)
部員	肴倉 宏史	○	29.2.9	理事会議事録 (H29/4/21, H29/5/19)
部員	佐藤 毅	○	29.2.10	JIS 原案作成委員会 (地盤工学用語) 報告
部員*	中村 貴久	○	29.2.11	地盤調査規格・基準委員会 第 1 回議事録
部員*	武政 学	○	29.2.12	動的コーン貫入試験方法 JIS 原案作成委員会第 3 回議事録
部員	平井 貴雄	×	29.2.13	【回覧】JIS 規格案・解説案 (動的コーン)
部員	藤原 照幸 澤 孝平	◎	29.2.14	【回覧】「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」の解説 (案) への意見・質問募集の HP 掲載
部員	宗像 保男	○	29.2.15	【回覧】地下水調査に用いる井戸理論式の整理及び解説 (2017 年度版) の HP 掲載
※	中川 直	×	29.2.16	基準部関連の刊行物発行費・印刷製品費の追加支出に関するお願い (総務部長) 他
前部長	松本 樹典	○	29.2.17	【別冊】室内試験関係 JIS 規格素案審議
前部員	高柳 剛	×	29.2.18	JIS 規格素案の進捗状況について
前部員	浜田 英治	×	29.2.19	JGS 0231 「土の有機炭素含有量試験方法」基準名の変更
			29.2.20	地盤環境スクリーニングに関する ISO 翻訳 JIS 原案作成に関する現況
事務局	齋藤/長尾	○	回覧-2	

※オブザーバー

*：本年度新任

○：出席

☆：出席 (電子会議)

◎：代理出席

×：欠席

審議事項

1. 前回議事録の確認 (資料-29.2.0, pp.1-5)
修正箇所等指摘なく、原案通りに承認された。
2. 全体関係
 - (1) 新任理事・部員の紹介・自己紹介
仙頭新基準部長より、堀越理事、武政部員、中村部員の紹介が行われ、その後、出席者による自己紹介が行われた。
 - (2) 部会・委員会の紹介
仙頭基準部長より、議題書 pp.4-5 の資料に基づき部会、委員会、WG の紹介が行われた。
 - (3) 2017 年度部会の部会開催方法
2017 年度の部会開催方法について、仙頭部長より従来通り 2 ヶ月に 1 度の頻度で開催（議事内容が書面審議で対応できる場合は、書面による部会開催）したい旨提案があり、承認された。
 - (4) 平成 28 (2016) 年度 決算・平成 29 (2017) 年度 事業計画、予算 (資料-29.2.1, pp.6-21)
齊藤事務局員より、2016 年度の決算及び 2017 年度の事業計画、予算について説明があり、2016 年度は約 621 万円の黒字であったが、予算に対して 35% の達成にとどまった。この主な原因は、基準英訳における寄附金が予定通りに集まらなかったことによるとの説明があった。また、2017 年度の予算については、収入が 3181 万円、支出が 2118 万円で 1063 万円の収益を見込んでいる。赤本改訂については、室内各 WG の予算を全て「地盤材料試験の方法と解説 (2019) 編集委員会」費として 260 万円計上していることが説明された。
これらについて、審議の結果、原案通り承認された。
 - (5) 規格・基準に関する細則 (資料-29.2.2, 別冊 101-106)
武政部員より、資料に基づき規格・基準に関する細則の修正案が説明され、資料 p.104 のフロー中で、「規格制定・改正の理由や要点の学会誌公示承認」から「会員への公示 (3 ヶ月)」への矢印と「会員への公示 (3 ヶ月)」から「基本方針や素案等の確認、または検討」への矢印について、実線から破線（必要に応じて対応）に修正することで承認された。
 - (6) 基準部平成 24 年度未払金 (資料-29.2.3, pp.22-23)
・未払金 73,504 円を雑収入に計上する。
齊藤事務局員より、資料に基づき、青本の執筆料の未払い金（支払い済）の余剰金について、雑収入に計上する旨説明があり、承認された。
 - (7) 予算執行状況、書籍売上・在庫数 (資料-29.2.4, pp.24)
齊藤事務局員より、資料に基づき青本の 2017 年度の予算執行状況、書籍の売り上げ、同在庫状況について説明があり、確認された。なお、在庫数の少ない「地盤調査の方法と解説 改訂版 (青本)」と「コルゲートメタルカルバート・マニュアル」については、審議の結果、増刷することになった。また、「岩石の一軸引張り試験方法」の増刷については、継続審議となった。
 - (8) その他
特になし

【理事会報告*】 3. 委員等の異動

- ・各委員会 2017 年度 (平成 29 年度) 構成 (資料-29.2.5, 回覧 1-)
 - (1) 室内試験規格・基準委員会
[委員交代] 久内 伸夫 氏→矢野 則弘 氏 (国交省 技術調査課)
[委員追加・WG7 特殊土の試験]
菊本 統 氏(横浜国立大学)
具志 良太 氏 (内閣府沖縄総合事務局) **【招請委員】 *招請委員は理事会審議**
細田 寿臣 氏 (高速道路総合技術研究所)
吉本 憲正 氏 (山口大学)
中村 洋丈 氏 (高速道路総合技術研究所)
原案通り、承認された。
 - (2) 地盤調査規格・基準委員会
[委員交代] 久内 伸夫 氏→矢野 則弘 氏 (国交省 技術調査課)
[委員追加・WG4 ボーリング, サンプルング]
王 海龍 氏 (応用地質)

[委員追加・WG15 岩盤の原位置一軸・三軸試験方法基準化検討 WG]

WG リーダー 谷 和夫 氏 (東京海洋大学)
WG 幹事 岡田 哲実 氏 (電力中央研究所)
白鷺 卓 氏 (鹿島建設)
小川 浩司 氏 (応用地質)

原案通り、承認された。

(3) ISO 国内委員会

[幹事交代] 浅田 素之 氏→椋木 俊文 氏 (熊本大学)
[委員交代] 久内 伸夫 氏→矢野 則弘 氏 (国交省 技術調査課)

原案通り、承認された。

(4) 地盤設計・施工基準検討委員会

特になし

(5) 表記法検討委員会

特になし

(6) 技能試験実施委員会

特になし

(7) 基準英訳化に関する実行委員会

[委員追加] 堀越 研一 氏 (大成建設)
[委員交代] 高柳 剛 氏→中村 貴久 氏 (鉄道総研)

原案通り、承認された。

(8) 部員の異動

[部員交代] 浜田 英司 氏→武政 学 氏 (基礎地盤コンサルタンツ)

原案通り、承認された。

4. ISO 国内委員会 関係

【総務部会審議】 (1) 広域における地盤工学特性の評価手法に関する国際標準化事業受託契約 (経産省)

・契約書/実施計画書/情報セキュリティ体制の件 **(資料—29.2.6, pp.25-53)**

浅田部員より、資料に基づき標記の件について説明があり、審議の結果、原案通り承認された。

なお、本契約は TC182 に関連するものであり、防災研が約 540 万円、当学会が 460 万円の配分となっていることが補足説明された。学会の一般管理費について、質疑があり、委員会費と海外旅費の合計額の 10% (ただし委員会費と海外旅費と一般管理費の合計が配分額を超えない) であることを確認した。また、仙頭基準部長より一般管理費が適正に学会に入るように、計画的な予算執行に配慮いただきたいとの要請がなされた。

5. 地盤工学表記法委員会 関係

特になし

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

(資料—29.2.17, 別冊 159-239)

【理事会報告】*公示後、公示の報告 (1) JIS 規格素案審議

JIS A 1202 土粒子の密度試験方法
JIS A 1203 土の含水比試験方法
JIS A 1204 土の粒度試験方法
JIS A 1225 砂の最小密度・最大密度試験方
JIA A 1226 土の湿潤密度試験方法
JIS A 1216 土の一軸圧縮試験方法

小早川部員より、上記 6 規格について、測定精度に関連して有効数字の丸め方、JIS 用語の見直し、試験回数の見直し、ISO 規格がある規格については相互性などを中心に検討を行った旨説明があった。各自内容について、確認をして疑義がある場合は、1 週間を目処に小早川部員へ申し出ることになった。

なお、JIS 規格の書式や言い回しについては、伊貝部員が確認することになった。

(2) JIS 規格素案の進捗状況について **(資料—29.2.17, p.99)**

仙頭基準部長 (室内試験幹事兼任) より、資料に基づき進捗状況について説明があり、確認された。

(3) JGS 0231 「土の有機炭素含有量試験方法」基準名の変更 **(資料—29.2.18, p.100)**

肴倉部員より、資料に基づき説明があり、審議の結果、JIS 用語の修正など大きな作業が伴うことが判明したため、基準名の変更は行わないことになった。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

(1) 水圧破碎法による初期地圧の測定方法 (公示後の修正案) **(資料—29.2.7, 別冊 106-158)**

武政部員より、資料に基づき公示後の修正案が説明され、審議の結果、継続審議となった。また、英訳についてはWGで対応することになった。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

特になし

【理事会報告】 9. 技能試験実施委員会 関係

(1) 技能試験実施委員会「優良事業所証明制度」について (資料—29.2.8, pp.54-55)

藤原部員の代理で澤孝平先生より、資料に基づき説明があり、審議の結果、次回理事会へ報告をして理事会の意見等を踏まえた上で、次回改めて再審議をすることになった。

10. 基準英訳化に関する実行委員会 関係

特になし

11. 基準部所管刊行物

特になし

12. その他

特になし

報告事項

1. 理事会 (H29/4/21, H29/5/19,) 開催報告 (資料—29.2.9 pp.56-64)

仙頭基準部長より、資料に基づき理事会報告がなされた。

基準部に関連する議事としては、

- ・新しい中長期ビジョン委員会が設置されることになり、仙頭基準部長がそのメンバーになった。基準に関する事項が多いため、その内容に対して部員から意見をいただく等の協力について要請があった。
 - ・策定中の基準案 (WG10→WG3、地下水) について、名古屋大会で再度 DS を開催する。
 - ・基準英訳について、山下調査・研究部長より、ベンダーエレメントの試験法を追加するように要請があった (対応済み)。
 - ・各部におけるマイナス予算について、注意喚起された。
- 等である。

2. 全体関係

(1) 中期ビジョン委員会 (仮)

仙頭基準部長がメンバーになっているので、提案、意見などがある場合は、申し出て欲しいとのことであった。

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

・2017年度予定

(相手先)	(金額)	
	助成	受託
・土木学会	0万円	-
・日本建設業連合会	50万円	-
・三菱総合研究所／経産省 (TC182 広域地盤モデル WG)	-	※457万円
・三菱総合研究所／経産省 (TC190/SC3/WG10 運営 WG)	-	720万円
小計	50万円	1,177万円
合計	1,227万円	

※防災科研と共同提案。防災科研分 約538万円、JGS分 約457万円。

浅田部員より、上記表に基づき、報告がなされた。なお、土木学会からの受託がなくなったので、表より削除して欲しいとのことであった。

②地盤環境スクリーニングに関する ISO 翻訳 JIS 原案作成に関する現況 (資料—29.2.20, p.101)

浅田部員より、ISO 委員会で検討中であることが報告された。

【理事会報告】 ③ 国際会議派遣

- ・ISO/TC 190/WG 1 会議出席 坂井 宏行 (TC190/SC3/WG10 運営 WG) 5月2日 - 4日フランス・パリ
- 浅田部員より、上記の通り、報告がなされた。

(2) 地盤工学表記法委員会

- ①JIS 原案作成委員会（地盤工学用語）報告 (資料—29.2.10, p.65)
伊貝部員より、資料に基づき報告がなされた。
 - (3) 室内試験規格・基準委員会
特になし
 - (4) 地盤調査規格・基準委員会
 - ①委員会・WG 活動報告 (資料—29.2.11, pp.66-68)
武政部員より、資料に基づき報告がなされた。
 - ②JIS 原案作成委員会（動的コーン）報告 (資料—29.2.12, pp.69-77)
(資料—29.2.13, 回覧 32-)
武政部員より、資料に基づき報告がなされた。
 - ③「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法」の解説（案）
への意見・質問募集の HP 掲載 (資料—29.2.14, 回覧 54-)
武政部員より、資料に基づき報告がなされた。
 - ④地下水調査に用いる井戸理論式の整理及び解説（2017 年度版）の HP 掲載 (資料—29.2.15, 回覧 73-)
武政部員より、資料に基づき報告がなされた。
 - ⑤基準化 WG の活動結果（解散）
・WG10 地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法基準化 WG
武政部員より、WG10 が解散となったので、業務は WG3 に引き継がれたことが報告された。
 - (5) 地盤設計・施工基準委員会
 - (6) 技能試験実施委員会
 - (7) 基準英訳化に関する実行委員会
【理事会報告】・総務部会への報告 (資料—29.2.16, pp.77-98)
仙頭基準部長（基準英訳化委員会幹事長兼任）より、資料に基づき説明がなされ、Vol.3 発行に当たり、販売収入増、寄附金確保などの収益増加に関する見直しを図り、総務部会へ対応策の報告をすることになったとのことであった。また、提案、意見等があれば申し出て欲しい旨の依頼もあった。
 - (8) ウェブページ
特になし
4. 日本工業標準調査会 土木技術専門委員会
特になし
5. 審議中の基準

基準名	担当		承認				検 討 結 果	一 覧 *	刊行
	委員 会	W G	部会	理事会 報告	公 示	理 事 会 [承 認]			
地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法基準	調査	10	2015 11/5	2015 11/24	2016 2月号		(HP)		
過酸化水素水による土及び岩石の酸性化可能性試験方法	室内	4			2015 11・12月号	2016 3/15	2016 5月号	済	
水圧破碎法による初期地圧の測定方法	調査	3	2016 1/7	2016 1/26	2016 4月号				
JIS 規格素案（改正）物理特性 9 件	室内	1						赤本 2019 予定	

*地盤工学会ウェブサイト「基準一覧」への掲載
峯岸幹事より、現在審議中の基準について、上表に基づき報告がなされた。

6. 部会・委員会・WG 開催状況
委員会・WG 数：常設委員会 6、常設委員会の WG:32（内、受託:2）、JSA 公募原案作成:2、その他:1 計：41

委 員 会 名	長	委員会開催日、太字は次回開催日
基準部会	松本 樹典	4/20(書面)
ISO 国内委員会	今村 聡	
・WG1: TC182 国内専門委員会	木幡 行宏	
・・広域地盤特性評価法 WG（受託）	宮田 喜壽	
・WG2: TC190 国内専門委員会	川端 淳一	

・ TC190/SC3/WG10 対応 WG (受託) ・ WG3: TC221 国内専門委員会	坂井 宏行 椋木 俊文	1	4/21
室内試験規格・基準委員会	豊田 浩史		
・ WG1 物理特性 ・ WG2 化学特性 ・ WG3 透水・圧密特性 ・ WG4 力学特性 ・ WG5 安定化・締固め特性 ・ WG6 ジオシンセティックス ・ WG7 特殊土の試験 ・ WG8 赤本改訂版の総説執筆 ・ WG9 低透水性土質材料の透水試験方法基準化 ・ WG10 「土質試験 基本と手引き」改訂	杉井 俊夫 肴倉 宏史 渡部 要一 澁谷 啓 横田 聖哉 木幡 行宏 風間 基樹 豊田 浩史 西垣 誠 大島 昭彦	1 1 1 1	4/28 5/16 5/26,
地盤調査規格・基準委員会	末政 直晃	1	5/12
・ WG1 物理探査・検層 ・ WG2 ボーリング・サンプリング ・ WG3 地下水 ・ WG4 サウンディング ・ WG5 載荷試験 ・ WG6 現場密度試験 ・ WG7 現地計測 ・ WG8 環境化学分析のためのサンプリング ・ WG9 地盤調査の計画、資料調査・地質調査 ・ WG10 地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法 基準化WG	斎藤 秀樹 正垣 孝晴 進士 喜英 大島 昭彦 大島 昭彦 三嶋 信雄 上野 将司 江種 伸之 長田 昌彦 西垣 誠		[解散・基準理事会承認までの活動は WG3 に引き継ぎ]
・ WG11 動的コーン貫入試験方法 JIS 規格化 WG ・ JIS 原案作成委員会 (動的コーン貫入試験方法) ・ WG13 水圧破砕による初期地王測定法の基準化検討WG ・ WG15 岩盤の原位置一軸・三軸試験方法基準化検討WG	大島 昭彦 末政 直晃 伊藤 高敏 谷 和夫	1 1 ? ?	5/12, 5/10, 5/18,
地盤設計・施工基準委員会	木幡 行宏		
・ WG1 土構造物 ・ WG2 杭の水平載荷試験 ・ WG3 グラウンドアンカー ・ WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・ WG5 地山補強土	本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫		
地盤工学表記法委員会 ・ JIS 原案作成委員会 (地盤工学表記法)	大島 昭彦 大島 昭彦	3	4/7, 5/19, 6/7,
技能試験実施委員会	日置 和昭		
基準英訳化に関する実行委員会	竹下 祐二	1	4/20 (書面),

峯岸幹事より、上表に基づき基準部会内の部会、委員会、WG の活動状況が報告された。

7. その他

(1) 理事会 (平成29年7月28日 (金)) への審議事項・報告事項

・ 審議 3.委員等の異動、

(2) 総務部会 (平成 29 年 7 月 14 日 (金) 開催予定) への提案事項

(3) 次回以降の部会開催日

・平成 29 年度 (2017 年度) 第 3 回: 第 1 案 平成 29 年 [2017 年] 9 月 日 () 14:30~17:00

第 2 案 平成 29 年 [2017 年] 9 月 日 () 14:30~17:00~

仙頭基準部長より、山中理事の予定を踏まえて調整後、案内する旨説明があった。

(対応理事会 or 書面)

★ 平成 29 年度 理事会 開催日程 (予定含む)

① 4 月 21 日 (金) ※書面審議

② 5 月 19 日 (金)

★ 6 月 9 日 (金) 総会/理事会

③ 6 月 16 日 (金) ※書面審議

④ 7 月 28 日 (金)

⑤ 9 月 29 日 (金)

- ⑥ 10月27日(金) ※書面審議
- ⑦ 11月24日(金)
- ⑧ 12月22日(金) ※書面審議
- ⑨ 1月26日(金)
- ⑩ 2月23日(金) ※書面審議
- ⑪ 3月16日(金)

-
- ⑫ 4月20日(金) ※書面審議
 - ⑬ 5月18日(金)
 - ★ 6月6日(水) 総会/理事会

以上